

女池校区コミュニティ協議会

第21号

女池コミ協だより

発行日 令和6年3月21日
 発行 女池校区コミュニティ協議会
 会長 佐藤 雅之
 TEL 025-285-9501
 FAX 025-288-5681
 e-mail qqtm7xk9k@arrow.ocn.ne.jp



女池地区も大きな被害が出ました



女池校区コミュニティ協議会会長 佐藤 雅之

白山神社でお祓いを受け、お守りを買おうと並んでいるときでした。突然と携帯から警告音が鳴り響き、強い揺れが襲ってきました。

それでも白山神社の灯籠が倒れることもなく、大したことないなと思っていたところ津波警報が出され、すぐに帰宅。避難所である女池小学校に飛び込みました。

女池小学校では既に大勢の人達が避難を始めていました。津波警報が最大3メートルの津波と伝えていましたので無理ありません。

女池校区の他の避難所である江南高等学校、鳥屋野中学校、そして紫竹山小学校に連絡を入れましたが、どこも同じような状況でした。時間がたつと津波の状況も分かってきたのか、ほとんどの人が帰宅していききました。それでも不安だという人、家が傾いたという人たち五十人程度が夜を明かしました。

翌日、家が傾いたという町内を中心に被害状況を見て回りましたが予想以上に液状化となった地域が多いのには驚かされました。

明らかに傾いた家が十軒程度あり、その半分くらいはそのままでの居住が困難ではないかと思いました。

コミ協で避難所の様子や被害状況をまとめましたが、当然一番大変なのは被害を受けたお宅です。謹んでお見舞いを申し上げます。

とにかく何かしなければと、翌日は罹災届の申請書を印刷して配りました。被災した皆様が一刻も早く震災前の生活に戻るよう、心から願っております。

“絆” “支え合い” “助け合い” 各部会の取り組み “自助” “共助” “公助”

総務部会

座長 佐藤雅之

- ①秋の一斉草取り活動（9月30日開催）
毎年恒例の草取り活動を開催しました。かなりの数の自治会が参加しましたが、来年度からは、開催は任意の期日とし、少しずつ毎月、毎週のような間隔で実施していただくと思っています。よって令和6年度はなるべく早い時期に年間予定数のゴミ袋と軍手を配布する予定です。
- ②上所コミ協この懇談会（10月25日開催）
数年ぶりに上所コミ協との情報交換会を開催しました。お互いに実施している事業の報告、そして上所駅について説明をいただきました。今後も協力しながら切磋琢磨していこうと思います。
- ③区長懇談会（1月22日開催）
鳥屋野地区公民館にて中央区長、副区長、建設課長、地域課長、同補佐をお迎えして懇談会を開催しました。
内容は、鳥屋野球場の今後、鳥屋野湯の未来図、中学校の部活動の地域移行、空き家の樹木等が道路を塞いだ時の取扱い、小張木上沿線の鳥屋野湯側道の整備内容、選挙立会人の選定方法などについて質疑応答し、最後に山際市会議員から市議会における質問とその回答について説明を受けました。
- ④今後の予定
・鳥屋野湯一斉清掃（3月16日予定）
・鳥屋野湯整備計画説明会（地域振興局の都合で来年度へ延期予定）



草取り活動



区長懇談会



鳥屋野湯整備

環境防災部会

環境防災部長 佐藤雄一

- 今年度はコロナも落ち着いて、従来の生活に戻ったようだ。しかし、梅雨明け頃から、異常気象で高温が、線状降水帯による日本各地で水害が新潟は、雨が降らず農作物に被害が、元日には「5強の地震」に襲われた。
- ①4月1日：江南高等学校が「津波避難ビル」に指定された。
 - ②7月24日：避難所運営委員会構成メンバーの見直し。
 - ③10月21日：防災訓練（勉強会）女池小学校体育館に気象予報士の先生から、ハザードマップの読み方、天気図の見方、私たちの住む女池地区の水害、津波の影響などの説明で防災意識の向上につながった。約170人の参加者だった。
 - ④11月29日：視察研修
「やまこし復興交流館」と、長岡震災センター「きおくみらい」において、復興までの記録と展示品等を見て、視察員の話を聞いた。
 - ⑤避難所の開設
元旦、能登半島地震の発生による津波警報発令により各避難所を開設しました。各避難所に多くの人々が避難した。また、住宅、施設等に被害が多数あった。



防災訓練



視察研修

スポーツ部会

スポーツ部長 渡邊欣也

- ①野球大会の開催（9月10日）
鳥屋野運動公園野球場で開催し、鳥屋野中中学生が優勝しました。
- ②新潟シティーマラン運営協力（10月8日開催）
多くのランナーが元気よく女池を駆け抜けていました。声援ありがとうございました。



女池校区コミュニティ協議会

今年度下期の活動報告

福祉部会

福祉部長 川口英男

- ①包括ケアシステム学習会（毎月2回実施）
今年度は今まで抑制気味に行っていた健康体操もようやくコロナ禍も落ち着いて伸び伸びと運動を始めることができました。今年度は延べ23回、約9000名の方が参加しました。（一回あたり38名）
- ②トリットボール大会（9月13日実施）
・鳥屋野湯公園水辺の広場にて約40名参加
- ③地域の茶の間への支援
令和5年度は茶の間数が1軒増えて6茶の間に活動助成を行った。（9月）
・お茶の間「ひまわり」
・お茶の間「ハの会」
・「ここ」茶の間 神道寺
・「こぼり」のき地域の茶の間
・お茶の間「わくわく」
・地域の茶の間「女池みなみ」
- ④緊急医療情報キットの配付（9月）
・14自治会64軒に配付。
- ⑤三三講演会（2月24日実施）
演題・・・災害時の健康管理
講師・・・南地域保険福祉センター
長橋真由美様（保健師）



健康体操



トリットボール



三三講演会

学校部会

学校部長 小谷日出志

- ①女池校区交通安全推進協議会の活動
子ども見守りボランティアによる街頭指導80名を超えるスタッフで日々の立哨・巡回、又ながら見守りで児童の交通事故防止や不審者に対する見守り活動を実施中。
・街頭指導者実技講習会の参加
年2回開催される中央区役所総務課主催の講習会を積極的に受講。後期の講習会は3月26日に鳥屋野総合体育館で開催予定。
・交通安全のほり旗及び横断用小旗の配付
交通安全のほり旗10枚・横断歩道用小旗40本（新潟中文給食）を該当自治会に納入。
・貸出用小型除雪機の冬期間常置
中央区建設課へ当協議会名で借用申請後、12月に搬入して戴き通学路の歩道除雪を実施。
②新潟交通安全協会女池支部の活動
・交通安全週間における啓発活動
年4回重点的に実施される安全週間における旗の掲出及びチラシによる啓発活動を実施。
・交通安全のほり旗の配付
のほり旗58枚を申込の自治会に納入。
・優秀（良）運動者の表彰申請業務
女池支部経緯で来年度に該当される方はなし。
- ③ふれあいスクール女池っ子ランドの活動
・女池っ子ランドの運営支援と活動協力
11月11日に女池っ子ランド主催で「女池っ子ランドまつり」をPTAさんと協力のもとで開催。児童439名・幼児38名・保護者68名が参加して盛大に実施。
・各学校への青少年育成助成金
女池小学校には掃除機及び競技用ハードル6台を寄贈。又鳥屋野中学校には助成金を支給。



見守りボランティア会議



街頭指導者実技講習会



女池っ子ランドまつり

地域の情報

液状化現象

今回の地震は震度5強でした。あちこちで、大谷石の塀や灯籠が倒れ、さらには、液状化現象によって多くの家屋がかなりの損害を被りました。西区の被害は特に甚大でしたが、女池校区内においても、女池三丁目、六丁目、七丁目、八丁目、そして小張木の一部に液状化が広がり、十軒程度が傾くなど、大きな被害が出ました。鳥屋野球場や交通公園も使用できないくらいの状態です。

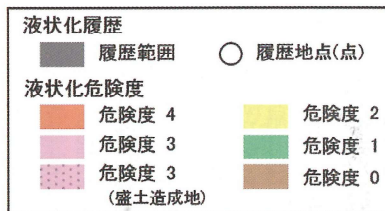
これらの地域は、開発以前に、池や潟があったり、やち（湿地帯）だったりして地盤が軟弱だったためと言われていますが、新潟県が作成している液状化マップを見ると、女池校区を含む鳥屋野地区の殆どが危険度3となっています。要するにどこで液状化が生じてもおかしくない状況なのです。したがって、今回液状化が起こらなかった地域は、たまたま運が良かったから、と言えるのかもしれませんが

物理的な液状化対策には盛り土や杭打ち、硬化剤の注入等、地盤改良によるいくつかの方法があるようですが、液状化が広範囲に及ぶということで、その地域全体での大掛かりな地盤改良となり、費用も高額となるので、現実的には困難かもしれません。

液状化による被害も対象ということで、地震保険の加入も対策の一つですが、掛け金との兼ね合いもありますので、よく確認してからの加入を勧めます。

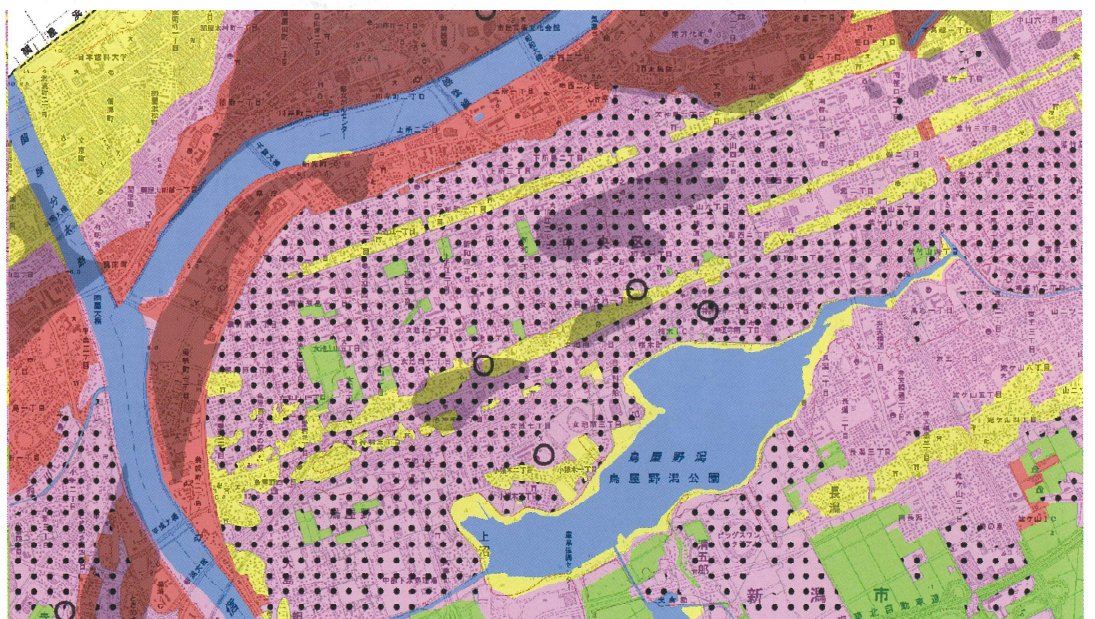
佐渡沖や佐潟近くの断層を震源とするかなり大きな地震も予想されています。液状化に対する抜本的な対策は難しいですが、できることは何かを考え、少しでも被害を小さくしていく必要があるでしょう。

液状化しやすさマップ



(液状化危険度)

- 危険度4：液状化の可能性が高い
- 危険度3：液状化の可能性がある
- 危険度2：液状化の可能性が低い
- 危険度1：液状化の可能性が非常に低い
- 危険度0：液状化判定の対象外



編集後記

今後もコミ協の取り組みや地域の課題、各自治会活動など身近な話題も紹介していきたいと考えていますのでご意見・ご要望をいただければ幸いです。

編集委員一同

新潟市HP掲載の液状化しやすさマップ（北陸地方整備局、地盤工学会北陸支部作成）より